放射線遮断する壁材

技研興業

壁材は病院でCTなどから出るエックス線を外部に漏らさないように内壁に組み込む

技研興業はチヨダウーテと共同で、放射線の高い遮断性能を持つ石こうボードを開発した。放射線を吸収する硫酸バリウムの量を競合他社の製品より5割以上増やし、遮断能力を高めた。治療や研究に使用するエックス線が室外に漏れ出す量をこれまでの10分の1以下に抑えることができるという。医療機関や研究施設に販売し、2013年3月期に5000枚の販売をめざす。

X線漏れ10分の1

硫酸バリウムを増量

近く発売する「スキュータムボード」は施工時に室内の壁に組み込み、外部に放射線が漏れるのを防ぐことができる。放射線を吸収する性質がある硫酸バリウムを活用、2枚重ねてエックス線を99・98%遮断する。これまで同条件でのエックス線のカット率は99・74%程度だったとみられるが、「スキュータムボード」なら外部に漏れるエックス線量を10分の1以下に低減できるという。

同製品は硫酸バリウムと石こう、水を混ぜた後、乾燥させて成形する。これまでは石こう1に対して0・8～2・0のバリウムを混ぜてきたが、新製品では2・4～3・0のバリウムを使う。

バリウムを増量すると強度が低下しがちだが、チヨダウーテが持つ特殊な成形技術により従来品と同程度の強度を確保した。

価格（施工費別）は一般的な石こうボードと同サイズの縦91センチメートル・幅182センチメートル・厚さ約1・2センチメートルのタイプが1枚約2万円。

技研興業は東証2部上場で、港湾などに設置する消波ブロックの製造・販売が中核事業。12年3月期の売上高は104億3400万円。放射線遮蔽材の製造・販売では国内大手で、同事業の売上高は12年3月期が37億7100万円だった。チヨダウーテはジャスダック上場で、石こうボードで国内シェア2位。12年3月期の売上高は278億5600万円。

▼硫酸バリウム　バリウムイオンと硫酸イオンの化合物で、胃液などに溶けにくい。放射線を吸収する性質を持ち、胃のレントゲン検査に使われることで知られる。医療機関などでは鉛を使用した遮蔽材が一般に活用される。

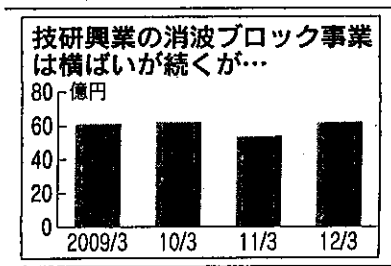
医療機関の建て替え・新設に商機

技研興業は消波ブロックの製造・販売で1958年に設立。事業の多角化へ放射線の遮蔽材事業を62年に立ち上げた。東証1部に上場、成長路線をめざしたが、宅地造成などの事業拡大が失敗し、70年に会社更生法の申請に追い込まれた苦い過去がある。消波ブロックと放射線遮蔽材に業容を絞って経営再建を果たし、83年に東証2部に再上場した。

ただ、公共事業費の削減で消波ブロック事業は売上高が61億円程度と横ばいが続く。そうした中、成長分野に据えるのが放射線遮蔽材事業だ。

国土交通省の建設工事受注統計によると、民間の医療福祉施設の受注高は11年に前年比45・4%増の8704億円に拡大した。病院の統廃合による建て替え・新設の増加を受けて、放射線遮蔽材の需要拡大も見込める。技研興業は新製品で収益拡大を図る考えだ。

（渡辺伸）



再生計画の提示先送り

三光汽船　差し押さえ問題難航

1カ月後に

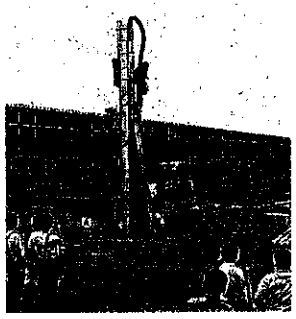
事業再生ADR（裁判以外の紛争解決）で経営再建を目指している三光汽船（東京・千代田）は、1日に開いた第2回の債権者説明会で事業再生計画の提示を先送りした。当初は具体的な再生計画を示す予定だったが、北米沖で外国船主に自社船が差し押さえられた問題の調整が難航。計画策定には用船主の協力が必要だとして、計画は1カ月後の7月3日の説明会で示す方針だ。

同日、東京都内で開いた説明会には新生銀行や三菱東京UFJ銀行などの金融機関10行の関係者が参加した。三光汽船は海外の一部船主による積載量5万トンの自社船「さんこうみねらる」の差し押さえ問題について説明、7月3日の第3回説明会までに和解に向けて努力するとした。このため、ADR成立を決める最終説明会も8月初旬に延期されることになる。

ばら積み船の短期輸送契約を主体とする三光汽船は、運賃市況の低迷を受けて業績が悪化。高い価格で借りている運航船の用船料の支払いが行き詰まり、私的整理の一種である事業再生ADRでの経営再建を目指している。3月の第1回債権者説明会では、長期借入金の返済延期や用船料の支払い先送りを柱とする5カ年の再生計画の素案を債権者に示した。

液状化対策工法を公開

飛島建設など　丸太で地盤固める



飛島建設と兼松日産農林、昭和マテリアルは千葉県浦安市の運動公園で、実証試験中の丸太を使った液状化対策工法を公開した＝写真。直径20センチ程度・長さ4メートル程度の丸太を打ち込み、地中の砂の密度を高めて地盤を強固にし液状化を防ぐ。

丸太には千葉県内の間伐材を利用する。大気中の二酸化炭素（CO_2）を吸い込んだ木材をそのまま地中に埋め込み、その分、大気中の温暖化ガスを減らす効果を狙う。

実験では、5メートル四方のスペースに丸太を100本、同じく64本、36本などと配置本数を変えながら打ち込んだ。効果を検証しながら2012年度に設計・施工法などを確立し、その後、公園や学校、戸建て住宅などの対策で実用化を目指す。

液状化対策を巡っては、丸太を打ち込む工法のほか、地盤に砂を注入する工法、砂にセメントを混合する工法などもある。

生ワサビ生産4倍に

渋谷建設　栽培設備、今秋に増設

【新潟】渋谷建設（新潟県糸魚川市、渋谷一正社長）はグループ会社を通じて栽培、販売するワサビの生産量を今後2年で4倍に増やす。糸魚川市内に持つ栽培設備のそばに昨年末1カ所増設したのに加え、今秋さらに2カ所増やす計画。生産した生ワサビの県内スーパーへの納入が広がるなど販路が拡大しており、増産に向けて栽培設備の増設に踏み切る。

渋谷建設は生ワサビに加え、野菜や魚介類とあえて瓶詰めにした加工食品の開発、販売もしている。ワサビは栽培を始めてから出荷するまで約2年の生育期間が必要だという。現在年約5000本（0・4トン）の供給力を持つが、約3000万円を投じて栽培設備を計4カ所とし、約2万本にまで高める。

県内スーパー最大手の原信ナルスホールディングスや地場のスーパーなどに生ワサビを卸している。このほか県内の飲食店や温泉旅館のほか、県外の卸からも注文が入り販路を広げている。同社によると、新潟県内や北陸地域では生ワサビの栽培は珍しく、大手食品メーカーの練りワサビが主力を占めているとしている。

マンション共用部の植栽

専門スタッフが維持・管理

東急不動産はマンションに社外の専門スタッフを定期的に派遣して共用部分の植栽を維持・管理する取り組みを始める。植物の状態や季節に合わせて剪定（せんてい）するなどし景観を保つ。都会でも緑豊かな環境で暮らしたいという人が増えているとみて、自社で販売するマンションの付加価値とする考えだ。

専門スタッフは「グリーン・コンシェルジュ」。1カ月に1～2回訪問して対象物件の建物周囲や中庭などの植栽を管理する。東急不動産と契約する設計会社の専門家に状態を報告しながら、株分けや肥料の使い方などの指示を受けて作業する。

マンション管理会社による一般的な植栽の維持作業は年に数回の害虫駆除や除草の作業を手がける程度。グリーン・コンシェルジュはこうした作業に加えてよりこまめに植木を手入れし住環境の魅力を高める。

このサービスを導入するのは建設中の「BRANZ弦巻二丁目」と「BRANZ弦巻四丁目」＝写真は植栽イメージ＝の2物件（ともに東京都世田谷区）。2物件は植栽のほかに住民用の屋上菜園を設置する予定で、グリーン・コンシェルジュは野菜の栽培や収穫期の判断なども居住者に助言する。

グリーン・コンシェルジュの作業内容

- 季節に合わせた剪定
- 株分け
- 計画的な肥料やり
- 居住者用の屋上菜園の栽培・収穫をアドバイス
- 害虫駆除

みさと産業が自己破産申請へ

負債50億円

【札幌】ペット用品卸のみさと産業（札幌市、柴田旭社長）が5月31日、札幌地裁に自己破産を申請する準備に入った。負債総額は約50億円とみられる。

みさと産業はペットフードやペット用品を全国のホームセンターや量販店に卸す。

2009年には同業の中屋商事（前橋市）と共同出資で「グローカルペットケア」（東京）を発足、経営統合も視野に規模を拡大してきた。

東京商工リサーチによると11年4月期には売上高が119億円と過去最高を更新した。だが経営方針が一致せず、みさと産業は今年2月、グローカルペットケアの持ち分をすべて手放すこととなった。

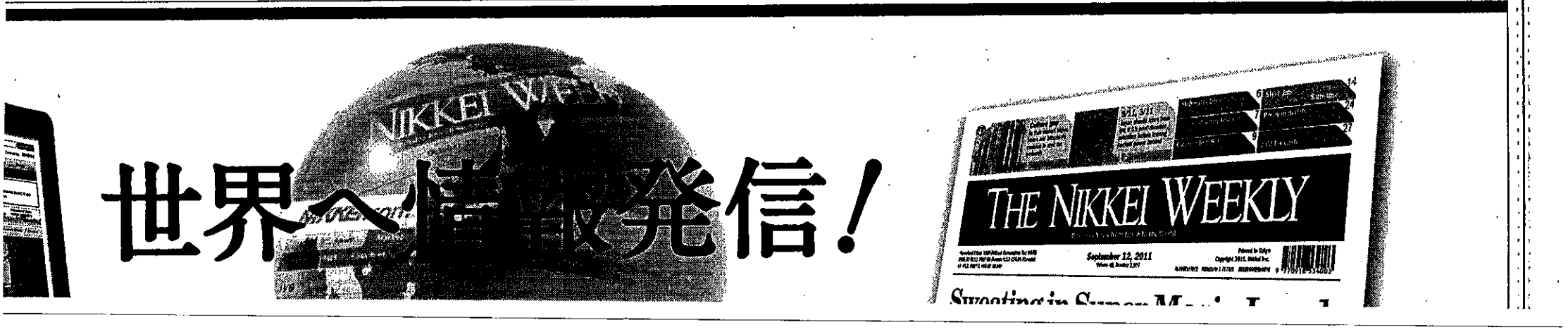
結果、グローカルペットケアを通じた販路を失い、借入金の返済など資金繰りに行き詰まった。

独社製車両使いレストラン開業

広島電鉄

【広島】広島電鉄は路面電車の車両を活用し、広島市内でレストラン「トランヴェール・エクスプレス」（仮称）を7月11日に開店する。電車開業100周年記念事業の一環。

1959年にドイツの企業が製造した車両を使う。独ドルトムント市の路面電車として活躍した後、広電が81年に購入し、翌年から走らせていた。老朽化で2008年から倉庫で保管していたが、今回、最大で3000万円をかけて改装する。



販売

の1

マンション市場
まとめ）

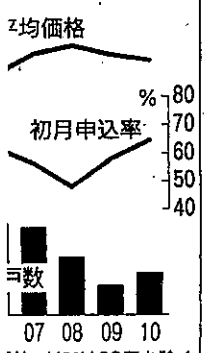
パーの都心回帰
やや低迷気味。
線の沿線で供給
べ顧客の購入体
てとの価格の割

。地域の経済力
ると、希少価値
の需要は拡大傾

てとの住み分け
安定感が強い。
集中し、相場の
物件ごとの立地
踏まえた価格形

マンションは都
と都心に直結し
に二極化傾向も

郊外エリアの
給戸数と価格、



マンション関連コンサルティングのトータルブレイン（東京・港、久光龍彦社長）は首都圏近郊・郊外エリアのマンション

鉄道路線拡充などの話題がある武蔵小杉駅周辺で活発だ。

都内では今春、京王電鉄と小田急電鉄が乗り入れる5KL駅で東京建物が